

Service News サービス・ニュース

貸出券は「最後にご利用いただいた日」から2年間有効です

2年間ご利用にならなかった場合は、更新手続きが必要になります。貸出券をお持ちになり、2階図書総合カウンターへお越しください。
※インターネット席や電源席なども利用実績に含まれます。

■更新手続きについて

新規登録時と同じように、「貸出券発行(変更)申込書」に記入してご本人様の確認ができるものと一緒に登録カウンターへご提出ください。変更がない場合は、在勤/在学の証明書は必要ありません。

The Best Reader

【ベストリーダー 2014】パープルゾーン 江戸・東京編

日比谷図書文化館の本の中で、昨年一番多く読まれた本は何だと思えますか? 2階パープルゾーンの江戸と東京に関する本に焦点を当て、貸出回数が多かったベスト5をご紹介します。(※時代小説と観光情報は除く)

	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	『東京の池』	小沢 信男 富田 均	作品社	34
2	『磯部浅一と二・二六事件 わが生涯を焼く』	山崎 国紀	河出書房新社	33
3	『デジタル鳥瞰 江戸の崖 東京の崖』	芳賀 ひらく	講談社	22
4	『凹凸を楽しむ 東京「スリパチ」地形散歩』	皆川 典久	洋泉社	19
5	『大東京23区散歩』	泉 麻人 村松 昭(絵)	講談社	18
5	『御乱心 落語協会分裂と、円生とその弟子たち』	三遊亭 円丈	主婦の友社	18

(2014.01.04~12.28)

わたしの一冊

『神々の山嶺 上・下』

夢枕獏 著

寒さや痛みの極限に達した時の恐怖や息苦しさを感ずるほどの世界に没入しながら読み終えました。山に登ることしか考えられない男が挑む、前人未到のエベレスト南西壁冬期無酸素単独登頂「なぜ登るのか」「なぜ人は生きるのか」。彼の生き方を通じ、大切なことを考えさせられます。

当館スタッフの推薦本をご紹介します。おすすめする人 事業企画運営部門 高津久美子

集英社 / 1997年

山に魅せられた男たちの交錯する人生を軸に、世界最高峰の山に命を賭けて挑む姿や思いに迫る一冊。

3F ブルーゾーン

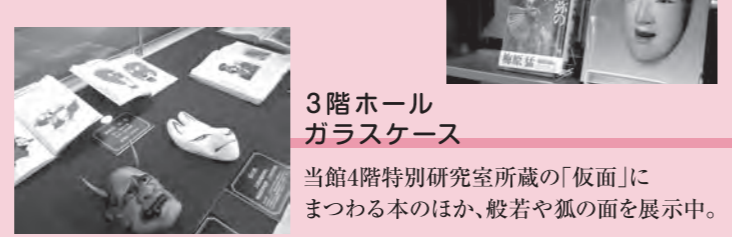
【アート・言語・文学】の本を集めたゾーン

「仮面と素顔」

昆虫の中には、木の葉や枝に姿を似せる「擬態」をするものがあります。食べられまいとする究極の「仮面」と言えるかもしれません。しかし、彼らは自分が天敵の目を欺いていることを知っているのでしょうか。人は、仮面の下に素顔が隠れていることを理解しています。今回の展示では、そんな人間界における「仮面」についてご紹介します。



日本の伝統芸能においても「仮面」は重要な役割を担っています。



2月の展示情報

※展示内容は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「浮世絵にみる江戸と芸術」 **NEW!**
江戸時代、浮世絵は現代の新聞や雑誌のような身近な紙メディアでした。江戸の人々と同様に気軽に浮世絵に触れ、魅力を感じられるような本を様々な角度からご紹介します。
■文化財特別展「千代田の坂と橋-江戸・東京の地形」関連展示(三角台) **NEW!**

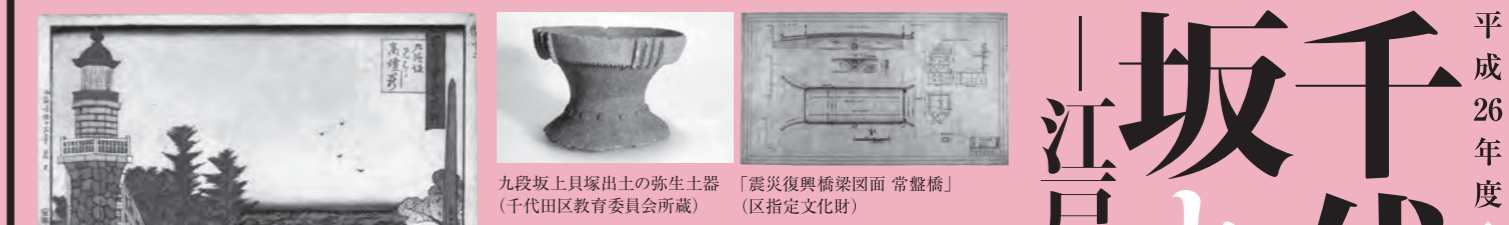
2F ホール 「アーカイブサミット2015」関連展示 **NEW!**
「ちよだ生物多様性推進プラン」紹介(～2月中旬)

2F オレンジゾーン 「生物多様性とくらし・経済」

3F グリーンゾーン 「食」(～2月中旬)

3F ホール 「仮面と素顔」関連展示(ガラスケース)
「浮世絵にみる江戸と芸術」関連展示(ガラスケース) **NEW!**
「アーカイブサミット2015」関連展示 **展示アーカイブ!**
「日比谷1957 ～社会・産業・ファッション」
日比谷図書館が戦後再建された1957年の社会や文化を高度成長、消費、百貨店、新素材、パービー、衣服などをキーワードに読み解きます。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌



千代田区は、旧江戸城を境として西に台地、東に低地が存在し、今でも江戸時代以来の道筋には、由緒のある「坂」があり、河川や堀割には歴史ある「橋」が残ります。いかなれば「坂と橋」は、千代田区の地理的・歴史的特質を示すものです。

平成26年度特別展では、区内に残る坂と橋にスポットをあて、「江戸・東京」の歴史を紐解きます。普段なにげなく歩く街並みには、近世以降の文化遺産が数多く残り、現代の街並みがこうした歴史の積み重ねによって形作られていることがわかります。これを機会に、ぜひ私たちが住み、働く土地の歴史を知るきっかけにしたいだければ幸いです。

展示項目

- 江戸名所としての坂と橋
- 千代田区の地形のなりたち
- 祭礼にみる坂と橋
- 江戸の「坂」
- 江戸・東京の「橋」
- 「千代田の坂と橋」散歩

展示解説

右記の日程で、担当学芸員が展示解説を行います。時間になりましたら、1階特別展示室の入口付近にお集まりください。(所要時間:約40分程度・予約不要)

2月4日(水) 14:00~ 2月12日(木) 17:00~ 2月19日(木) 17:00~ 3月5日(木) 17:00~ 3月17日(火) 14:00~

本展示に関連した講座を開催します

2/12(木) 18:30~20:30 「浮世絵にみる千代田の坂と橋」 ■講師:滝口正哉(区学芸員)

3/5(木) 18:30~20:30 「江戸の橋と広場」 ■小林信也(川村学園女子大学非常勤講師)

2/19(木) 18:30~20:30 「江戸・東京の坂と崖」 ■講師:芳賀ひらく(之潮代表)

上記講座 ■会場:日比谷図書文化館4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■受講料:200円
■申込み:電話・Eメールのいずれかにて氏名・ご住所・電話番号を明記のうえ、下記までお申し込みください。定員に達し次第受付終了となります。
日比谷図書文化館 文化財事務室 電話:03-3502-3348 Eメール:rekimin@vesta.ocn.ne.jp



calendar 開館時間:平日10時~22時 ■土曜10時~19時 ■日祝10時~17時 ■休館日

2015年2月							2015年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
							29	30	31				

お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp

access

都営地下鉄 ■三田線「内幸町駅」 A7出口 徒歩3分
■丸ノ内線 日比谷駅 徒歩3分
■千代田線 「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
■千代田線 「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

2・3月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」本「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

2/3
(火)

第29回江戸歴史講座 明治の東京と国家の祝祭 一日比谷・宮城・上野公園を歩く

講師：木下 直之(東京大学大学院人文社会系研究科教授 文化資源学)

江戸の祭礼、神田祭と山王祭を換骨奪胎するかのようになり、天皇を迎えた東京では新たな祝祭が繰り広げられた。とはいえ、江戸懐古の性格をも強く持っていた。憲法発布の祝賀会や日清戦争祝捷大会へと出かけることにしよう。(木下直之)



日清戦争東京市祝捷大会
上野公園/1894年

- 日時:2月3日(火)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名
- 参加費:1000円(千代田区民500円)

2/10
(火)

日本橋高島屋コンシェルジュに学ぶ、 心を動かす「おもてなし」

講師：敷田 正法(株式会社 高島屋日本橋店 総務部顧客グループ担当部長)

創業180年を超える老舗百貨店・高島屋の正面玄関に立ち続け、年間のべ3万6千人の案内・相談・クレームに応えるコンシェルジュの敷田氏。クレームのお客さまをファンに変える、どんな要望にも応える、そんな一歩先をいく「おもてなし」の心を学びます。



- 日時:2月10日(火)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

◆ピースビレッジ◆

2/11
(水・祝)

第29回 変容の時代を生きる

講師：木戸 寛孝(NPO法人世界連邦21世紀フォーラム理事長)

現代科学は人類に恩恵をもたらす一方、環境破壊など見過ごせない問題も引き起こします。科学と倫理が独立して扱われてきた影響もあるでしょう。21世紀を生きる私達は、どのような宇宙観、自然観、世界観をもつべきなのかを、一緒に考えてみたいと思います。(主催：NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)



- 日時:2月11日(水・祝)14:00～16:30(13:30より受付)
- 会場:4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:3000円

3/8
(日)

第30回 東北復興からみえる、組織と個人のこれから

講師：藤沢 烈(一般社団法人RCF復興支援チーム 代表理事)

東日本大震災から4年。東北では、未来の社会が必要とする挑戦が続けられています。社会価値の創出を目指す大手企業、地域社会を変革しようとする行政組織。時代の生産者として社会と関わっていく個人。東北での事例をあげつつ、日本社会の今後を考えます。(主催：NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)

- 日時:3月8日(日)14:00～16:30(13:30より受付)
- 会場:4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:3000円

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

2/18
(水)

日比谷で学ぶ和の文化 雛祭りとお雛人形 一祈りと願いの系譜

講師：是澤 博昭(大妻女子大学家政学部児童学科准教授)

子供の健やかな成長と幸せを願う雛祭りは、江戸時代の中頃に私たちの生活の中に定着しました。このような人形祭りは、世界に類を見ないものです。雛祭りから生まれたさまざまな雛人形の姿を追うことで、日本の伝統文化を再発見する、日本人形史研究の第一線で活躍する講師による講座です。



- 日時:2月18日(水)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:60名 ■ 参加費:1000円

2/26
(木)

古書で紐解く近現代史セミナー 第12回 日本統治期における内田嘉吉の台湾政策 ～灯台建設から総督時代まで～

講師：森田 健太郎(特別研究室ナビゲーター)

内田嘉吉は台湾植民地統治初期に灯台建設に関わり、後に台湾総督府民政長官及び台湾総督として原住民政策や産業開発など台湾の植民地経営に力を尽くしました。内田嘉吉文庫の幅広い資料を通して、内田嘉吉の台湾における事蹟および内田と台湾にまつわる様々なエピソードを紹介します。



内田嘉吉
(台湾拓殖画報刊行会「台湾拓殖画報」/1918年)

- 日時:2月26日(木)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:500円(千代田区民無料)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。

◆読書の愉しみ(全3回)◆

2/26
(木)

第2回「読みかき、食いしん坊」

講師：石田 千(作家)

読書の愉しみについて語っていただく全3回講座の第2回にお招きするのは、作家の石田千さん。本を読んだり文を書いたり、その合間には、かんたんな食事を作り、夕方になると町に出る日々。夕焼けの町を歩けば本や文のことが浮かび、ペンを握っているときは、お昼はなにを食べようか、夕方はどこで遊ぼうかと悩む。仕事と日常が行き来し、たがいにヒントを持ちよるような日々についてお話いただきます。(主催：上廣倫理財団)



石田千氏

- 日時:2月26日(木)18:30～20:00(18:00より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:500円(千代田区民及び学生は無料)※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ち下さい。

3/26
(木)

第3回「読書の技法」

講師：小林 康夫(東京大学教授)

読書は簡単と言えば簡単で、誰にでもできます。しかし、読み方は決して一通りではありません。ひとつのテキストにも色々な読み方があり、時に表面の意味を超えた、とても深い世界を垣間みることもできます。今回は文学をより愉しむための技法を、日本近代文学の小説を例にとって考えます。ストーリーを追うだけではない、小説世界の不思議を愉しむための技法への招待です。(主催：上廣倫理財団)



小林康夫氏

- 日時:3月26日(木)18:30～20:00(18:00より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:500円(千代田区民及び学生は無料)※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ち下さい。

3/7
(土)

マンガとアニメの天才、ウィンザー・マッケイ ～『リトル・ニモ』の魅力に迫る～

講師：小野 耕世(海外コミック研究家・翻訳家)

アメリカの新聞連載マンガとアニメーションのパイオニア、ウィンザー・マッケイ。彼が残した数々の作品は、世界のマンガ・アニメの歴史を飛躍的に発展させました。日本における海外コミック研究の第一人者である小野耕世氏が、実際のマンガや映像を見ながら、その魅力に迫ります。



- 日時:3月7日(土)14:00～16:00(13:30より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:1000円

3/11
(水)

霞ヶ関官庁街の景観変化 一高層化と歴史的建築の保存の視点から一

講師：寺本 英治(一般財団法人 建築保全センター専務理事)

霞ヶ関官庁街は戦後から半世紀を超える歴史の中で、多くの建物が高層化され景観が変化してきました。そこには関東大震災後に造られた名建築の保存か否か、官庁建築として景観はどうあるべきか等、熱い議論が秘められています。その一端をご紹介します。(企画・協力：NPO法人建築から社会に貢献する会)



- 日時:3月11日(水)19:00～20:45(18:30より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:160名 ■ 参加費:1000円

3/13
(金)

日比谷コトづくり塾〈第10回〉日比谷発!最新トレンド発信 『動物園・水族館』で地域を元気にする

講師：南 学(東洋大学大学院客員教授・日比谷コトづくり塾塾長)
土居 利光(恩賜上野動物園園長・首都大学東京客員教授)
堀 由紀子(新江ノ島水族館館長・世界淡水魚園水族館「アクア・トキふ」館長)

「懐かしのデパート動物園」のお話や、地元の小学生が園長の指導のもとトラのことを伝える活動「うえのトラ大使」など、上野動物園で行われている地域連携や、楽しみながら学習するエデュテインメント型水族館である新江ノ島水族館といった「動物園・水族館」を核として地域が元気になる取り組みを紹介します。(主催：一般社団法人日本経営協会)



土居利光氏

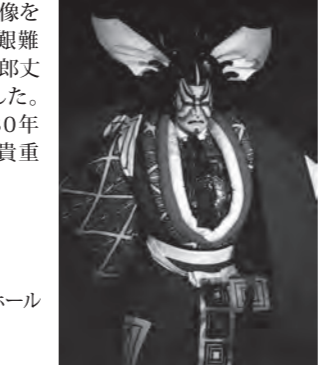
- 日時:3月13日(金)13:30～16:30(13:00より受付)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:50名 ■ 参加費:1080円

3/20
(金)

千代田区民講座 團十郎家十二代 魂の継承

講師：薄井 大還(写真家)

「伝統の継承」は「魂の伝承」です。想像をはるかに越えた自由のない日々と、艱難辛苦の連続を生き抜く十二代目團十郎丈の姿は、多くの人々に感動を与えました。襲名の2年前から永眠するまでの30年間、カメラを通してその魂に触れた貴重な写真とともに語ります。(主催：NPO法人神田雑学大学)



©TAIKAN USUI

- 日時:3月20日(金)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■ 参加費:無料
- ※2月20日(金)から千代田区民先行受付開始。区民以外は27日(金)から受付開始。

3/25
(水)

星をたのしむ・春 ～星の和名

講師：皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)

小幡 真希(星のソムリエ®みたか)

星空と言えばギリシャ神話に由来する星の名前や星座がほとんどですが、日本にも古来より名づけられた星の名前や、物語があります。意外に知らない日本の星の世界を、星のソムリエ®と楽しむ夕べ。4月4日の皆既月食や、講座当日に見える星空をあわせて紹介します。



しし座・いかげぼし

- 日時:3月25日(水)19:00～21:00(18:30より受付)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■ 参加費:1000円

3/31
(火)他

扉を開いて、 広大なクラシック音楽の世界へ! (全2回) ～ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2015を前に～

講師：オヤマダアツシ(音楽ライター)

聴くだけでも楽しめるクラシック音楽ですが、少しの「知識」を得ることで目の前の世界が広がります。歴史を辿って「バロック音楽」「ロマン派音楽」などの区分を知り、そこで活躍した11人の作曲家を知れば、重い扉の向こうに広がる世界も自由に歩けるはず。基本をマスターしてクラシック音楽を楽しむ、初心者向けガイドです。(協力：東京国際フォーラム/ラックスマン/フォステクス/ナクソス・ジャパン)



- 日時:3月31日(火) 第1回 時代別、クラシック音楽のしくみを知る
4月7日(火) 第2回 これが作曲家の「カリスマ・イレブン」
- いずれも19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回200名 ■ 参加費:各回500円

特別研究室 ミニ通信

特別研究室企画展示

「内田嘉吉文庫が伝える 日本統治期の台湾」

▶開催中～3月15日(日)

台湾総督府民政長官、台湾総督を務めた内田嘉吉は生涯台湾に強い関心を寄せ、台湾植民地統治に関する資料を幅広く収集しました。



台北図書館
(台湾総督府鉄道部編「鉄道旅行案内」/1917年)

本展示では内田嘉吉文庫に収められている総督府内部資料や写真集、人類学、地誌、産業等様々な台湾関連資料を通じて、台湾における日本の植民地統治の歴史を紹介いたします。

LIBRARY SHOP & CAFE HIBIYA

■ライブラリーショップ&カフェ日比谷

カフェ席は、大きく取ったガラス窓からの風景も魅力の一つです。木々の葉が落ちた冬景色を窓の外に眺めつつ、暖かい飲み物で一息ついてみてはいかがでしょうか? 冬の公園を散策するのなら、ショップで販売している「落ち葉図鑑」が役に立つかも知れません。



文化財特別展

「千代田の坂と橋—江戸・東京の地形」展 開催記念

「江戸・東京クイズラリー」 実施します!

館内をぐるりとめぐって各フロアに設置されたヒントを探しながら、楽しむクイズラリーを実施します。魅力的な本や千代田区の歴史に触れるチャンスかも!参加された方には、もちろん千代田の文化財マップを差し上げます。参加費無料。1月30日から3月22日まで。

